

別紙 1

財務省第2入札等監視委員会平成21年度第3回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成22年3月12日(金) 仙台国税局3階会議室	
委員	委員長 高田 敏文 (東北大学大学院経済学研究科会計大学院教授) 委員 青木 雅明 (東北大学大学院経済学研究科会計大学院教授) 委員 高木 龍一郎 (東北学院大学法学部長法学部教授)	
審議対象期間	平成21年10月1日(木) ~ 平成21年12月31日(木)	
抽出案件	4件	(備考)
競争入札(公共工事)	2件	<p>契約件名: (H21) 吉倉住宅ほか2住宅天井改修その他工事 契約相手方: 桜田工業株式会社 契約金額: 21,420,000円 契約締結日: 平成21年12月3日 担当部局: 東北財務局総務部会計課</p> <p>契約件名: 税務大学校仙台研修所女子浴室改修工事 契約相手方: 庄磁工業株式会社 契約金額: 7,024,500円 契約締結日: 平成21年10月15日 担当部局: 仙台国税局総務部営繕監理官</p>
随意契約(公共工事)	-件	
競争入札(物品役務等)	2件	<p>契約件名: 国有地(秋田市牛島西一丁目外13箇所)測量等業務 契約相手方: 信越土地家屋調査士法人 契約金額: 3,465,000円 契約締結日: 平成21年10月20日 担当部局: 東北財務局秋田財務事務所</p> <p>契約件名: 小型荷物配達業務 契約相手方: 郵便事業株式会社 仙台支店 契約金額: 48,198,022円(単価契約予定調達総額) 契約締結日: 平成21年10月1日 担当部局: 仙台国税局総務部会計課</p>
随意契約(物品役務等)	-件	
応札(応募)業者数1者関連	1件	競争入札(物品役務等)「小型荷物配達業務」に同じ
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	次葉のとおり	次葉のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【事案1】 契約件名：(H21)吉倉住宅ほか2住宅天井改修その他工事 契約相手方：桜田工業株式会社 契約金額：21,420,000円 契約締結日：平成21年12月3日 担当部局：東北財務局総務部会計課</p> <p>低入札の調査については、入札価格の一番低い業者のみ調査するのか。</p> <p>まとめ発注について、前回要望として出したのは、広大な県の工事をまとめた場合にかえって効率が落ちる場合があるので、出来れば分けて地元業者にやらせた方がよいのではないかといいことで説明をお願いした。</p> <p>説明では、まとめて発注すると、例えば共通費が結構節約できるということだが、落札業者のいる田村市と工事現場の福島市などはかなり距離がある。</p> <p>他の業者に請負わせていることはないのか。</p> <p>【事案2】 契約件名：国有地(秋田市牛島西一丁目外13箇所)測量等業務 契約相手方：信越土地家屋調査士法人 契約金額：3,465,000円 契約締結日：平成21年10月20日 担当部局：東北財務局秋田財務事務所</p> <p>予定価格と実際の入札価格に、かなり開差があるが、原因はなにか。</p> <p>通常の場合、測量業務の落札率はどうなのか。</p> <p>社団法人である秋田県公共嘱託登記土地家屋調査士協会が、入札に参加していることについて問題はないのか。</p>	<p>契約の履行ができるかという調査であるため入札価格の一番低い1者のみ調査している。</p> <p>発注費用を極力抑えることが必要であり、まとめて発注した方が共通費を安くできる。また、監督業務としての指示が1つで済むなど事務的なメリットがあるため、発注時期や工事内容等に不都合が無い場合には基本的にまとめている。</p> <p>確かに距離はあるが、この業者の手持ち工事をみると、工期が重なっていても遠方にあるいわき市などの工事を請負っている。離れていたとしても、それなりのメリットはあると思われる。</p> <p>低入札の案件となったため、十分注意して監督をしていたが、その事実はない。</p> <p>過去に実施した入札では落札できなかったことから、是非落札したいということで、今回は低い金額で入札したと思われる。</p> <p>一概に、高い低いとは言えない。 ただ、物件数が多くなると低めになる傾向はある。</p> <p>協会ではあるが、土地家屋調査士法に定められた法人であり入札参加資格を有しているため、入札参加することに問題はない。</p>

意見・質問	回答
<p>【事案3】 契約件名：税務大学校仙台研修所女子浴室改修工事 契約相手方：庄磁工業株式会社 契約金額：7,024,500円 契約締結日：平成21年10月15日 担当部局：仙台国税局総務部営繕監理官</p> <p>入札に参加した7者はすべて仙台の業者で、辞退した2者は仙台市以外だが、何か理由はあるのか。</p> <p>質疑応答書はどんな時に使用するのか。</p> <p>7者応札して、1者しか基準価格以下にならなかったことについて、他の業者へのヒアリング等を行っているのか。</p> <p>【事案4】 契約件名：小型荷物配達業務 契約相手方：郵便事業株式会社 仙台支店 契約金額：48,198,022円(単価契約予定調達総額) 契約締結日：平成21年10月1日 担当部局：仙台国税局総務部会計課</p> <p>この契約案件は、1者応札案件ということであるが、仕様書の受理等、他に参加の意思を示した業者は、いなかったのか。</p> <p>政府調達案件に該当するのは、どういった場合か。</p>	<p>辞退した2者は他の案件を落札できたため、辞退したと思われる。</p> <p>図面だけでは分からないものや、図面上の不具合等、業者からの質問を書面で提出させ、その後当局で回答している。</p> <p>高額の入札者への対応は、考えていなかった。</p> <p>仕様書を交付した業者は、落札業者の他に2者あったが、いずれもの者も入札には参加しなかった。</p> <p>参加しなかった理由として、確かなことは不明であるが、当該業務は、確定申告書や年末調整関係用紙といった書類等を配達するものであり、仮に荷受人が転居をしていた場合には、書類等を転送しなければならず、入札に参加しなかった業者は、その転送処理の体制が不完全だったため、参加を敬遠したものと推測している。</p> <p>調達契約に係る予定価格等によって、判断されることになる。</p>

意見・質問	回答
<p>【総評】</p> <p>1 検討事項として1点申し上げる。 まとめ発注について、効果がある場合は結構であるが、例えば現場への距離が離れている等一定の条件がある場合は地元の業者が受注できるよう複数に分けて発注することを検討していただきたい。</p> <p>2 要望として2点申し上げる。</p> <p>(1) 公益法人である社団法人の入札の参加について、他の地域の状況等、一定の調査をしていただきたい。</p> <p>(2) 多数の者が入札に参加した契約案件について、落札者のみが予定価格以下の入札金額で、更に、最高価格の入札を行った者の金額が、大幅に高価な場合には、最高価格の入札を行った者に対し、入札金額等について、一定の調査を行っていただきたい。</p>	